

【検討例】

ア) 設置可能場所の面積等	(100.0) m ² 方位 (南) 設置角度 (30) 度
イ) 太陽光パネル面積	(40.0) m ² ※設置角度 30°の設置係数 0.4
ウ) 設置可能容量	(6.0) kW 設置可能容量 = 太陽光パネル面積(40 m ²) ×モジュール変換効率(0.15kW/ m ²) ×真南方向に設置角度 30°における発電効率(1.00) = 6.0[kW]
エ) 利用設備に対する荷重対策	なし
オ) 将来の設置に備えた対応策	あり (設備用基礎の設置)

2.4 ④導入判断

- ・太陽光発電設備の導入を予定するか見送るかの判断について、日照の確保、構造上の安全性、コストその他の検討結果を考慮して総合的に判断してください。
- ・導入のための詳細な検討を行う場合は、各メーカーや関係団体等が発行する資料等の他、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が発行する「太陽光発電フィールドテスト事業に関するガイドライン(設計施工・システム編)」等の資料を参考にしてください。
- ・また、「年間時別日射量データベース(METPV-11)」「年間月別日射量データベース(MONSOLA-11)」「全国日射量マップ」のアプリケーションがNEDOにより公開されています。
<http://www.nedo.go.jp/library/nissharyou.html>

【検討事項】

ア) 導入の可否

- ・設備の導入を予定している場合は、導入予定設備の概要について記入してください。

【項目】 太陽光パネル面積[m²]、発電容量[kW]

イ) 導入を見送る場合は、その理由を記入

- ・該当する理由を選択することとする。また、将来において導入する場合については、その旨も併せて記入してください。

(理由) ※複数選択可とします。

- 日照が確保できない
- 躯体が荷重に対応できない
- 敷地内に設置場所を確保できない
- 費用負担が大きい
- 本計画では見送るが、将来対応可能とする
- その他(具体的に)

ウ) コスト検討

- ・初期費用、資金計画、年間経常費用、年間収入またはコストメリットを算出してください。また単純投資回収年数を求め、導入判断の基礎にしてください。
- ・コスト検討シートを活用してください(提出は任意です)。